

平成22年度 多摩区協働推進事業 実施結果

I 安全で快適に暮らすまちづくり事業費

予算額 3,126,000円

決算額 3,048,481円

事業名 [担当課]	事業概要	実施結果(時期・内容・参加数等)	担当課の事業評価(成果)	事業費
1-1 多摩区安全・安心まちづくり推進事業 【地域振興課】	<p>区民・地域、警察、行政が連携し、防犯、防火、交通安全、放置自転車対策等に取り組む推進体制を整備し、安全・安心に関する情報の提供、のぼり旗、パトロール用ベスト等の提供、路面標示や立看板等の設置、維持管理等を通じて、区民が安全で安心して生活できるまちづくりを推進することを目的としている。</p> <p>地域が一体となった地域防犯活動を強化し、犯罪抑止につながる取組を行う。また、子どもの非行防止と犯罪被害防止の両面からの取組を行う。</p> <p>■事業対象：区民 ■実施主体：多摩区安全・安心まちづくり推進協議会 ■事業形態：全部委託、当初予定事業 ■開始時期：平成17年度</p>	<ul style="list-style-type: none"> ○ 防犯出前教室(万引き防止教室)の開催(延べ1,928人)(年10回) ○ パトロール用ベストの貸与(107着)、のぼり旗の貸与(ポール112本、旗212枚)(通年) ○ 防犯セミナー「女探偵ナオミの防犯教室～防犯の心構えと実践」開催 130人 ○ 必要箇所への路面標示や看板の設置と活用による地域環境の改善(通年) ○ 振り込め詐欺防止の啓発活動(通年) ○ 区内各駅周辺で放置自転車、違法駐車対策キャンペーン(年延べ30回) ○ 多摩区安全・安心まちづくり推進協議会のホームページの更新(年1回) 	<p>この事業は、区民の生命や日常の暮らしを守るという安全な地域社会の確立を目指したものであり、重要性が高く、社会的ニーズも高い。</p> <p>実施方法については、地縁のまとまりを基盤とした多摩区安全安心まちづくり推進協議会に委託を行っており、各団体とのネットワークを活かし、地域の抱える課題を早期発見、解決することが可能であり、また、地域の課題を地域住民自らが解決することにより、自助意識の高揚を図ることができ、地域力の向上という点で費用を上回る社会的効果をもたらすことができるので、効率的である。</p> <p>当該事業の実施により、防犯・防火・防災・交通安全・放置自転車対策の各分野において、啓発活動、イベント等を開催し多摩区内の安全・安心な地域環境づくりを推進した。</p>	<p>予算額：1,810,000円 決算額：1,763,494円</p>
1-2 市民防災活動支援事業 【地域振興課】	<p>地域住民の防災意識の向上と地域防災活動の中心的な役割を担う自主防災組織の育成に努め、防災に関する実践的な講座や救急員養成講座のほか、防災フェアの開催、避難所運営会議の充実等を通じて、地域の防災力を強化することを目的とする。</p> <p>■事業対象：区民 ■実施主体：多摩区自主防災組織連絡協議会 ■事業形態：全部委託、当初予定事業 ■開始時期：平成18年度</p>	<ul style="list-style-type: none"> ○ 救急員養成講座 12月9日に多摩区役所で開催(11人参加)。 ○ 防災対策セミナー 1月28日に多摩市民館で開催(120人参加)。 ○ 防災フェア 3月2日に多摩区役所・多摩市民館で開催(305人参加)。 ○ 避難所物品補助 区内全21避難所に担架を配備した。 ○ 避難所訓練活動 7月28日に合同運営会議を多摩市民館で開催(153人参加)。各避難所における運営会議は通年で延べ38回開催(延べ928人参加)。 	<p>この事業は、災害に強い地域体制づくりを目指したものであり、重要性が高く、社会的ニーズも高い。</p> <p>実施方法については、地縁のまとまりを基盤とした多摩区自主防災組織連絡協議会に委託を行っており、ネットワークを活かした地域防災力の向上が可能であり、また、地域の課題を地域住民自らが解決することにより、自助意識の高揚を図ることができ、地域力の向上という点で費用を上回る社会的効果をもたらすことができるので、効率的である。</p> <p>当該事業の実施により、区民や自主防災組織に対して、各種イベントを開催することで、防災意識の向上及び災害に強い地域体制を拡充した。</p>	<p>予算額：1,316,000円 決算額：1,284,987円</p>

事業名 [担当課]	事業概要	実施結果(時期・内容・参加数等)	担当課の事業評価(成果)	事業費
<p>2-1 パサージュ・たま事業 (旧ふれあいデー事業)</p> <p>【地域保健福祉課】</p>	<p>多摩区内の障害者団体並びに生活支援や就労支援を行っている障害者施設及び作業所等の普及啓発活動(活動紹介、作品の展示販売、作業実演、相談等)を通じて、多くの区民に障害福祉への理解と関心を深めてもらうとともに、障害者が地域社会とのつながりを持つことを目的として、月1回程度、区役所総合庁舎アトリウムを利用して開催する。</p> <p>市政日より、ホームページ、チラシの施設・作業所での配付等により広報を行う。</p> <p>■事業対象：区内障害者施設とその利用者及び一般区民 ■実施主体：区役所地域保健福祉課 ■事業形態：直営、当初予定事業 ■開始時期：平成20年度</p>	<p>○『パサージュ・たま』の開催 8月を除き、毎月1回、多摩区役所アトリウムにて年11回開催。延べ100団体が参加。 また、自主的な運営を目指し、準備や片付けを容易にできるよう移動可能な折りたたみ式の机を購入した。</p> <p>○『パサージュ・たま』運営委員会の開催 障害者と関わる18団体で構成し、年4回開催。実施結果の報告、開催日及び普及啓発方法などについて検討した。</p> <p>○広報の実施 市政日より及びホームページに適宜掲載。チラシは開催当日及び各団体の施設・作業所、また保健福祉センター窓口にて配付している。区民に対して『パサージュ・たま』の一層の周知を図るため、看板を作成した。また、平成22年度末に各団体の活動状況を掲載した広報誌を5,500部作成し、23年度当初に区内町内会・自治会で回覧した。</p>	<p>区役所アトリウムにて『パサージュ・たま』を実施することは、障害福祉に関する普及啓発の一環として有効である。同じ地域に住む住民と障害者がお互いに関心を持ち、理解しあうことは、充実した生活を送る上で重要であるが、障害者施設及び作業所等が普及啓発活動を行える場はごく限られている。『パサージュ・たま』は、区民の多くが利用する総合庁舎のアトリウムという通路状の性質を有効に利用し、障害者自身と多くの人々が直接関わりあえる場を提供している。また、定期的を実施することで、区民に対する周知も図られ、『パサージュ・たま』を目的に来庁する方もいる。</p> <p>当事者からは「作業を実際見ていただけて嬉しい」「多くの人とのふれあいが次の仕事の励みになっている」「毎月参加できる場があることが嬉しい」という声が多く、来庁者からは励ましの声かけや、商品に対するリクエスト、次回開催日に関する質問などがあった。作業所等からは「積極的に相手と関わろうとするようになった」「参加に意欲を示し、商品名や価格を覚えるようになった」「もっと上手にがんばる!と活動に対する大きな力になっている」などの声があり、定期的で開催される『パサージュ・たま』に参加することで、当事者は従来以上の意欲と活力を持ち、住民は興味や関心を示すようになっている。</p>	<p>予算額：531,000円 決算額：509,749円</p>
<p>2-2 健康づくり推進事業</p> <p>【地域保健福祉課】</p>	<p>多摩区の特徴を活かした場所、もの等により幅広い世代が交流し、食に対して、また健康づくりに対しての普及啓発を目的とする。</p> <p>○健康づくり普及啓発イベント1回 9月中1週間実施 ○食育イベント1回 11月実施 ○区民向け講演会1回(交流会含む) 10月実施</p> <p>■事業対象：区民及び区内在勤・在住者 ■実施主体：区役所地域保健福祉課 ■事業形態：直営、当初予定事業 ■開始時期：平成20年度</p>	<p>○健康づくり・介護予防に関して地域で活動する団体の紹介・交流を行う機会として「多摩区健康フェスタ」を実施。「多摩区健康フェスタ実行委員会」として15団体が参加。9月6日～9月11日、会期中延べ1740人参加。</p> <p>○食育イベントとして、小学生と保護者を対象とした「食育の秋inよみうりランド～サトイモ掘りと芋煮会～」をよみうりランド・JAセレサ・JAセレサ女性部・生産農家・ウオーキングボランティア・食生活改善推進員・専修大学学生とともによみうりランド内で実施。11月6日、46名参加。</p> <p>○「食育講演会及び交流会」として、区民を対象にした講演会、食育推進団体等の食育実践報告、意見交換会・食育パネル展示を行った。また食育交流会冊子を配布した。10月12日、41名参加。</p>	<p>健康づくり推進事業は地域の活動グループ等と協働で、地域の人材や資源を活かしながら、子どもから高齢者まで幅広い層を対象に、健康づくり・介護予防・食育に関して普及啓発を行っており、多摩区民にとって非常に意味のある事業である。</p> <p>食育イベントにおいては、よみうりランド、JAセレサ菅支店・ボランティア生産農家等と協働で実施しているため、サトイモ畑、苗、生育費用、会場費等の経費出費が抑えられ効率的に事業が実施できた。</p> <p>これらの事業は多くのボランティア団体や多摩区内の企業等、また大学生グループとともに企画運営するなかで、健康づくり・介護予防・食育の地域課題を共に考え、多摩区内のネットワークづくりに役立っている。</p>	<p>予算額：298,000円 決算額：151,234円</p>

Ⅲ 人を育て心を育むまちづくり事業費

予算額 13,133,000円

決算額 12,162,144円

事業名 [担当課]	事業概要	実施結果(時期・内容・参加数等)	担当課の事業評価(成果)	事業費
<p>3-1 多摩区こども総合支援連携会議</p> <p>【こども支援室】</p>	<p>多摩区における子どもに係る市民活動団体・グループと区内子ども関連施策実施機関とのネットワークを形成し、相互に連絡調整機能の強化を図る。また、庁内の検討会議と連動し「多摩区こども支援基本方針」に基づいた各団体・機関・関係部署の活動計画を顕在化し、各事業の連携を図る。</p> <p>■事業対象：区内の子育て支援関係機関・団体・グループ ■実施主体：区役所こども支援室 ■事業形態：直営、当初予定事業 ■開始時期：平成17年度</p>	<p>○年間3回(6月・10月・2月)の会議を実施 ○各機関・団体の情報交換 多摩区こども支援基本方針(たまっこプラン)に基づく実行計画の検討、活動状況調査を行い、多摩区の子ども・子育て支援事業計画を策定</p>	<p>○ 会議における討議及び区内の子育て支援事業等を具体的に調査し、「多摩区の子ども・子育て支援事業計画」を策定した。 ○ 調査においては、区内の子育て支援活動の状況が細部にわたり把握できた。 ○ 事業計画策定の経過において各機関・団体で互いの活動の取組状況の理解や課題の共有化等を図りながら行ったことが、出席者や関連団体等との連携を推進する上で効果的であった。</p>	<p>予算額：502,000円 決算額：413,105円</p>
<p>3-2 多摩区幼・保・小連携事業</p> <p>【こども支援室】</p>	<p>○ 発達の連続性を踏まえた子どもの育ちや一人一人の子どもの成長を一体的に支援するために、区内の幼稚園・保育園・小学校が連携を図り、情報交換や保育体験等を実施し支援体制作りを進める。 ○ 連絡会や交流事業を通し、私立幼稚園、公私立保育園、及び小学校の職員が相互に理解を深め、幼児・児童に関する諸課題等について話し合い、情報共有や交流を行いながら、相互協力・連携を進める。</p> <p>■事業対象：区内の幼稚園・保育園・小学校 ■実施主体：区役所こども支援室 ■事業形態：直営、当初予定事業 ■開始時期：平成18年度</p>	<p>○年間を通して小学校ごとにおける園児・児童の交流実施 ○5～7月 9～2月 幼稚園・保育園教職員の小学校授業参観、行事参観、情報交換への参加(延べ406名) ○7～8月 小学校教諭の保育園実習参加(6小学校16名) ○6/11, 1/21実務担当者連絡会 2/24代表者連絡会議開催 ○ちらし「生活リズムをつくりましょう」を作成し、区内全小学校・関係機関へ配布(入学予定者対象)</p>	<p>「小1プロブレム」への対応の必要性から、子どもの発達の連続性に着目した教職員同士の情報交換や子ども同士の交流等、年間を通じて様々な取組をしてきた。就学時における悩みや不安は保護者・子どもたちとも根強く、就学へ向けての対応等について各機関の連携の必要性が増している現状の中で、実務担当者による連絡会は有効な情報共有ができ成果がある。 今後については、新規の認可保育園の参加も加え、今まで連絡会に参加していなかった保育園が参加することで地域における連携の充実をさらに図ることができると考える。また、事業をさらに充実させるよう連携体制作りの場や機会の設定、相互の情報発信を進める。 会議の時間設定については、幼稚園、保育園、小学校の生活時間に違いがあるため、調整が難しいことが課題である。また、日頃の交流の充実を図ることも望まれるが、地域差も見られる。さらに、子どもの育ちをつなぐために、再度、連携の在り方についても見直しを図っていく必要がある。</p>	<p>予算額：156,000円 決算額：143,434円</p>

事業名 [担当課]	事業概要	実施結果(時期・内容・参加数等)	担当課の事業評価(成果)	事業費
3-3 こども・子育て普及啓発事業 【こども支援室】	<p>地域子育て支援施策として、社会が一丸となって子育てを支援していく地域づくりを目的に学習会や催し等を実施する。</p> <p>子育て支援者を対象とした各種研修や地域全体に向けての子育てへの理解を深めてもらう普及啓発、子育て中の親等を対象とした子どもに関する講座や子育て不安及びストレスの軽減を図る催し等を地域子育て支援者や団体とともに企画・実施する他、22年度からの取組みとして、多摩区こども総合支援連携会議等で出された地域課題(父親の育児参加、地域理解等)をテーマにした課題対応型事業等も実施。</p> <p>■事業対象：区内の親子・子どもに係る機関 ■実施主体：区役所こども支援室 ■事業形態：直営、当初予定事業 ■開始時期：平成20年度</p>	<p>○「パパとママの育児力講座」 8/28(保護者対象66名参加)</p> <p>○幼稚園・保育園教職員研修「子どもの発達―支援の立場より」 9/15 10/13 11/24 12/15 (240名参加)</p> <p>○講演会「発達障害を理解し、すこやかに育むために」 10/8 10/14 10/21(保護者対象118名参加)</p> <p>○講演会「元気をもらおう子育て応援の詩」 1/15(親子対象76名参加)</p>	<p>地域住民や子育て支援機関・団体及び子育て中の親等を対象に子どもの成長・発達に係る様々なテーマについて、専門分野の講師等を招き普及啓発研修の機会を多く設け、事業の推進が図られた。</p> <p>平成20年度 3回開催317名参加、平成21年度 3回開催388名参加、平成22年度は、子育ての地域課題としてあがっている父親の育児参加・発達障害の理解やかかわり方等をテーマに4回開催 500名という多くの参加があった。</p> <p>関係機関・団体等の連携やネットワークの場で区の課題としてあげられたテーマへの対応も行うことで、課題の顕在化及び共有やネットワーク間のさらなる連携協力への一助としながら事業を効果的に実施できた。平成22年度、発達障害をテーマに9月に4コマで開催した幼稚園・保育園職員等研修では定員を超える申し込みがあり、昨年度に重ねてさらにニーズの高まりが見られ、今後は開催数を増やす等、一層の充実を図っていきたい。</p> <p>人権関連等、普及啓発的テーマでの実施回については、一人でも多くの区民に趣旨を理解してもらうためにも広報の充実や開催方法の工夫等を図る必要がある。</p>	<p>予算額：287,000円 決算額：140,875円</p>
3-4 親と子の集いの場づくり事業 【こども支援室】	<p>地域の保護者の育児不安やストレスの軽減を図るため、身近な場で親子遊びや育児相談、仲間づくり、情報提供などの支援をし、地域子育て支援ネットワークへつなげていく機会とする。</p> <p>○「ママとあそぼうパパもね」事業 区内4地区4会場にて公立保育園・民生委員主任児童委員・地域子育て支援センターにししゅくがわらとの協働により、子育てのフリースペースを開催し親子のふれあい・交流・育児情報・相談の場を提供する。</p> <p>○子育て安全マット・玩具貸し出し事業 区内の子育てグループ等の活動支援のため、安全マットや玩具を貸し出しこどもの遊びや保育活動の利用に供する。</p> <p>■事業対象：区内における乳幼児と保護者 ■実施主体：区役所こども支援室 ■事業形態：直営、当初予定事業 ■開始時期：平成19年度</p>	<p>○平成22年4月～23年3月 4地区4会場にて各10回実施。 2,899人参加。 会場名 ①すかいきつず(登戸地区)②生田道院(生田地区)③中野島こども文化センター(中野島地区)④菅こども文化センター(菅地区)</p> <p>○親子の交流や身近な育児相談に専門職(看護師・栄養士・保育士)が対応。また、お誕生会、体操、歌や手遊びを毎月実施ほか親子に対する交通安全教室を実施。9月はたまたま子育てまつりに参加、1,083人の参加があった。 3月は地区ごとに親子ミニコンサート等の催しを開催した。(中野島地区は地震のため中止)</p> <p>○子育て情報として専門職による「子育てワンポイント」等多摩区の子育て情報を毎月発行した。</p> <p>○安全マットや玩具の貸し出しの拡大を行い、地域子育て支援事業への環境を整備した。</p> <p>○地域担当者会議年4回、公立保育園園長会と主任児童委員との連絡会を年2回実施。</p>	<p>年間計画に基づき、各会場10回ずつ「親と子の集い」を開催できた。また、「たまたま子育てまつり」参加や「交通安全教室」、「親子ミニコンサート」等も実施した。地域の子育て支援団体との協議も活発に行い、会場提供や運営スタッフ等地域との協働が機能し、参加者増等事業の成果へとつながっている。また、多くの参加者からは、この事業に対して評価を得ている。</p> <p>昨今の核家族化の進行が、子育て中の親の孤立化を深刻にしている。このような現状の中で、孤立化をふせぎ仲間づくりや地域子育て支援ネットワークへとつながっていくことができる本事業に対し、参加人数増からも分かるように区内親子のニーズは高まっており、さらなる事業の拡充が求められている状況である。</p> <p>また、大地震のあとは緊急事態に対するスタッフ間との共通認識を持ち、避難場所や非常持ち出しなど機会あるごとに様々な保護者の不安に対応した。</p>	<p>予算額：617,000円 決算額：566,619円</p>

事業名 [担当課]	事業概要	実施結果(時期・内容・参加数等)	担当課の事業評価(成果)	事業費
3-5 多摩区「親と子の育児園」事業 【こども支援室】	0歳から3歳までの家庭で保育をしている親子を主な支援対象として、子育てについての学習や交流、子育て支援での相談や情報提供等の機会を提供し子育て力を養うとともに、リフレッシュや仲間づくり等を行いながら地域における子育て支援ネットワークへつなげるとともに、地域での子育て力を高めるための取組を行うことで、早期虐待予防施策の一助とする。 ■事業対象：区内のこども（3歳まで）と保護者 ■実施主体：区役所こども支援室 ■事業形態：全部委託、当初予定事業 ■開始時期：平成18年度	○実施期間：平成22年5月から平成23年2月 18回開催 会場：多摩市民館、生田中学校特別創作活動センター、生田小学校体育館 ○0歳から3歳の子どもと保護者を対象に、年齢別に3クラス設け各々のプログラムを立て実施 親子あそび（各クラス5回程度）、親講座（各クラス6回程度）、季節の行事（4回程度）、製作活動（2回程度）運動会等 各回ごとに参加者に感想を記入してもらい、毎回の実施評価をして次回の参考とした。 ○参加状況 0歳児（15組） 1歳児（20組） 2～3歳児（25組） 延1,792人参加（内 父親延331人）	○ 就園前の子育て家庭のニーズとして、子育てに関する学習・相談・交流の要望が高い中、その要望を盛り込んだプログラム構成をし、参加者に好評であった。 ○ 子育て中の親の孤立化の予防という点から保護者同士の交流の場として効果的で、家族同士の仲間づくりの場にもなった。 ○ 父親の育児参加が求められる中、土曜日開催ということもあり年々父親の参加が増えている。（父親出席状況 18年度 22.2%、19年度 22.5%、20年度 309%、21年度 45.2%、22年度 50.0%） ○ 発達面等で支援が必要な子どもや、個別の育児支援が必要な保護者に対しては子ども支援室の相談につなげ、個別支援と育児園のグループ支援を効果的に行った。	予算額：1,582,000円 決算額：1,581,549円
3-6 親育て・子育て支援者養成事業 【こども支援室】	虐待予防と地域の子育て支援体制の拡充のため、親自身の育児力を養い、同時に子育て支援者を養成し地域のコミュニケーションと子育てネットワークづくりの一助とすることから、行政職員や専門家等による集中講座を開催し、地域子育て活動支援者を養成する。 ■事業対象：区民 ■実施主体：区役所こども支援室 ■事業形態：全部委託、当初予定事業 ■開始時期：平成20年度	○22年6月から11月まで全20回 基礎講座7回（子どもの発達、救急法など） 養成講座8回（コミュニケーション技術など） 実習・見学5回 修了者との交流会2回 ○受講者 24名 今後の支援活動について（18人から回答） すでに活動中（3人） 活動予定がある（3人） 活動希望あるが活動先未定（2人） 検討する（10人）	○ 参加者の1/3が子育て支援活動に参加する結果となった。 ○ 受講者の感想からも基礎学習から支援者養成のステップアップと段階を踏まえて行われ、その積み重ねが親の育児力を高め、また支援者としての契機づくりと向上を図る場となり効果的な講座であった。 ○ 子育てに悩む保護者が70～80%いる状況で子育て支援者の養成は継続的实施が必要である。	予算額：998,000円 決算額：978,249円
3-7 多摩区子育て支援パスポート事業 【こども支援室】	区役所と区商店街連合会との協働により、区内の子育て家庭の経済的負担の軽減及び地域でのコミュニケーションや見守り体制を充実するとともに、区民の地元商店街への関心と購買力を高め、商店街の活性化を図る。 （内容）区内商店街の協賛店で買い物をする際、多摩区子育て支援パスポートを提示することにより、割引などの特典をうけることができる。 ■事業対象：妊婦及び0歳から18歳までの子どもを持つ家庭 ■実施主体：区役所こども支援室・多摩区商店街連合会 ■事業形態：全部委託、当初予定事業 ■開始時期：平成19年度	○22年度新規パスポート発行数 1,437世帯（トータル7,371世帯） 新規に宿河原駅前商店会（6件）が加盟 ○地域啓発として子育てまつりでの抽選会（参加者数500人） 区商店街連合会とのイベントの協働実施（子育てプレミアム商品券広報） 11月（30人53セット） ○協賛店ガイドの改訂版の発行 ○広報：協賛店ガイドを多摩区ホームページに掲載、協賛店からの子育て応援メッセージと商店のPRを掲載 市政日より、一般紙、タウン紙に記事の掲載	○ 新規に宿河原駅前商店会が加盟し、協賛店の拡大となった。 ○ ホームページの掲載、地域紙への掲載等により区民への広報を行った。 ○ 商店の割引や景品は利用者から喜ばれている。 ○ 子育てまつりにおいて取り組んだ抽選会とパスポートの発行は、商店街の用意する景品が好評だったこともあり盛況で、パスポートも多く発行することができた。また、この取組みは商店街が子育て支援に取り組んでいるというアピールになった。	予算額：725,000円 決算額：722,680円

事業名 [担当課]	事業概要	実施結果(時期・内容・参加数等)	担当課の事業評価(成果)	事業費
<p>3-8 多摩区子ども総合支援に係る情報収集・発信事業</p> <p>【こども支援室】</p>	<p>核家族化、地域コミュニティの希薄化、さらに外出等情報収集機会が少ない等の子育て家庭の事情を踏まえ、区内の子育て情報を収集し、多様な手段で提供することで育児不安の軽減及び地域子育て支援体制へつなげる機会とする。また、地域子育て関連団体の広報面での活動支援を行うとともに、区民や地域団体と協働で地域情報の積極的な収集・発信を行うことで、活動・交流支援や子育ての分野での地域コミュニティの活性化を図る。</p> <p>○地域子育て情報収集及び子育てブック作成事業 妊娠期～概ね18歳の子ども及び子育て家庭を主な対象に、子育て全般に関して、公共・行政情報だけでなく地域・民間情報も含めて情報を収集・更新する。そのうち妊娠期～就学前後の子育て家庭を主な対象に支援制度や地域情報等全般について紹介する冊子を作成する。</p> <p>○ホームページでの子育て情報発信事業 ・子育てカレンダー事業 乳幼児期の親子を主な対象として、気軽に当日参加できる広場型の催しを中心に、カレンダー方式で情報を提供する。 ・子育てWEB 妊娠期～概ね18歳の子ども及び子育て家庭を主な対象に、子育て全般に関して、公共・行政情報や地域・民間情報を体系的に紹介する。</p> <p>○地域子育て情報の収集・広報及び交流支援事業 区内親子に対し、施策や事業等の子育て支援情報提供や広報、アピールを行う。また、地域の親子サークルや子育て支援団体に対し、地域への紹介・地域理解や活動アピールの支援として、各団体や催しの案内について掲示、配架、印刷等の広報支援を行う。</p> <p>■事業対象：区内の妊婦～こどもを持つ家庭 ■実施主体：区役所こども支援室 ■事業形態：一部委託、当初予定事業 ■開始時期：平成17年度</p>	<p>○地域子育て情報収集及び子育てブック作成事業 地域の子ども・子育て支援に係る、公共・行政情報及び地域・民間情報について、年間を通して収集、更新する。娠期～就学前後までを中心とした冊子「多摩区子育てブック」(A5,64頁)を4,000部作成し、母子手帳交付者、乳幼児期までの区内転入者、関連機関・団体、希望者等に配布した。</p> <p>○ホームページでの子育て情報発信事業 ・子育てカレンダーについて、年間を通し隔月で更新を行った。 ・子育てWEBについて、年3回の更新及び年1回の内容の拡充・全体のメンテナンスを行った。</p> <p>○地域子育て情報の収集・広報及び交流支援事業 こども支援室の案内を作成し(A4,三つ折、両面カラー)、区内の新小・中1年生及び子育て支援機関、関係者に配布し、相談窓口や事業紹介を行った。 区内の子育て団体等の催しや団体の広報について、掲示板やチラシ棚等での広報協力を行った。</p>	<p>○地域子育て情報収集及び子育てブック作成事業 内容や構成・目次等を変えてリニューアルを行った。4ページ拡充し、子育て中の親の意見を編集会議で取り入れ反映させるとともに、巻頭に多摩区の特徴的な子育て支援事業や、子育てを応援してくれる方々として民生委員、主任児童委員やこども会、町会、青少年指導員、体育指導員等子ども・子育ての関連団体等の紹介ページを新規に設け、地域全体で子育てを支援していることのアピールを掲載し、区内で妊娠した方や乳幼児期までの区内転入者等に広く配布した。</p> <p>○ホームページでの子育て情報発信事業 21年度に子育てWEB全体をリニューアルしたことに伴い、22年度から子育てカレンダーもWEBの中に配置して、ホームページ更新事業の一本化を行い効率化を行った。</p> <p>○地域子育て情報の収集・広報及び交流支援事業 こども支援室の案内(業務・事業紹介)を相談窓口紹介をメインとして内容・仕様をリニューアルして作成し(A4,三つ折、両面カラー)、区内の全新小・中1年生及び子育て支援機関、関係者に配布し、広く周知を行った。</p>	<p>予算額：1,702,000円 決算額：1,335,419円</p>
<p>3-9 多摩区こどもの外遊び事業</p> <p>【こども支援室】</p>	<p>第1期多摩区区民会議の審議結果を受けて、生活環境や家族のあり方、ライフスタイルの変化に伴い、子どもを取り巻く環境も変化していることから、運動場や公園等の広場、周辺にある自然環境の中で子どもの創造力を培う「こどもの外遊び」を推進し、子どもの知育や子育てを楽しむ場を地域でつくることを目的とする。</p> <p>■事業対象：区内の子どもと保護者 ■実施主体：こどもの外遊び事業実行委員会 ■事業形態：全部委託、当初予定事業 ■開始時期：平成20年度</p>	<p>○6月12日(土) 東名宿河原6丁目公園 参加者 約80人 ベーゴマ・木工・しゃぼん玉・お絵かき等</p> <p>○8月1日(月) 川崎国際生田緑地ゴルフ場 参加者 1,345人 ロープ遊び・木登り・ソリ遊び・魚とり等</p> <p>○8月29日(日) 二ヶ領用水(せせらぎ館近く) 魚つかみ取り 参加者約400人 魚つかみどり、幼児は簡易プールで魚すくい</p> <p>○10月23日(土) 菅馬場公園 参加者 136人 ブランコ・かまどで焼き物・木工・お絵かき等</p> <p>○11月7日(日) 多摩区市民健康の森(日向山) 参加者 35人 ネイチャーゲーム</p> <p>○12月5日(日) 五反田神社 参加者 99人 ハンモック・しゃぼん玉・川崎かるた・木工・かまどで焼き物等</p> <p>○1月10日(月) 二ヶ領せせらぎ館 参加者156名 凧作り・凧揚げ・そりすべり</p>	<p>事業の実施にあたっては、他の地域団体及び興味や関心のある区民へ積極的に呼びかけ、実行委員や当日ボランティアの増員につながった。また、実施形態も実行委員会主催から、地域の関係団体と協力しながら地域と密着した外遊びの開催が新たに3か所で実施でき、地域関係機関団体との連携・協力体制も深まった。また、こども文化センターの子ども委員と、地域の高齢者体操ボランティアとの世代間交流も外遊びを通して図ることができ、参加者からは非常に好評を博したところである。</p>	<p>予算額：800,000円 決算額：799,942円</p>

事業名 [担当課]	事業概要	実施結果(時期・内容・参加数等)	担当課の事業評価(成果)	事業費
3-10 たまたま子育てまつり 【生涯学習支援課】	<p>多摩で安心して子育てができる地域の環境づくりのために、子育て支援団体・市民グループ・関係行政機関の協働により、情報ひろば・子育てサークルの活動紹介などの多彩な情報提供を行うとともに、親子遊びの企画、子育て相談などを通して、子育て中の親子と地域の方々が“たまたま子育てまつり”で出会うことで、世代を超えた交流をもつきっかけとする。また、今年度から「子育てに関する講演会」を別途開催し、保護者に子育てについての学びの場を設定している。</p> <p>■事業対象：子育て中の親子及び子育てに関心のある市民 ■実施主体：たまたま子育てまつり実行委員会 ■事業形態：一部委託、当初予定事業 ■開始時期：平成15年度</p>	<p>「第8回たまたま子育てまつり」の開催 ○日程：平成22年9月19日(日) ○会場：多摩区総合庁舎 ○催物：情報ひろば(地域の子育て支援情報コーナー)、子育てサークルの紹介、AEDを使用した救命手当法(乳児・小児・成人)、世界の絵本の読み聞かせ、うきうきわくわくエンターテイメントショー、ダンボール基地で遊ぼう、お父さんと子どものたまりバー ほか ○参加者：約4,900人</p> <p>「講演会」 ○日程：平成23年3月6日(日) ○会場：多摩市民館大会議室 ○講師：北村 年子(ノンフィクションジャーナリスト) ○演目：“ママがもっと自分を好きになる方法” ○参加者：48名</p>	<p>昨年で第8回を迎え、毎年4,000人を超える参加者を考えると本事業は区民には定着してきたとも言える。多摩区では日常的に子育てを前向きに受け止め、行政の子育て支援施策に参加する親子と孤立化した親子の隔たりは依然として生じており、この差を縮める努力が求められている。</p> <p>地域全体で子育てをモチーフに交流できる場、また行政として支援していくこの機会は貴重であり、子育て支援のための情報量も豊富で、親子で楽しめるメニューも多く取り揃えているため、区民にとっては楽しく過ごせる機会である。</p> <p>多摩区子ども会連合会・商店街連合会・社会福祉協議会の協力をいただきながら、区民や多くの市民グループと協働し、「笑顔で子育てできる多摩区」をめざして主催者が協力しあい、一体となって運営にあたっている。実際に子育て中の親子の関わりも少しずつ増えてきており、子育て支援の環境づくりに大きく貢献している。</p>	<p>予算額：567,000円 決算額：556,373円</p>
3-11 幼児の発達支援事業 【保健福祉サービス課】	<p>「言葉が遅い」「多動」など育児に困難さや心配のある幼児の発達の確認を保護者と共に行いながら、対象児にあった対応と一緒に考え、楽しい遊びの体験を通して発達を促すことを目的とする。</p> <p>また、保護者同士が交流することにより、育児不安の軽減を図る。</p> <p>1歳半から2歳までと3歳からのグループに分け、保育士・心理職・言語聴覚士・体育指導員と共にそれぞれ月1回のグループ活動を行う。</p> <p>また、心理相談員による個別相談を3歳児健診と併設して行う。</p> <p>■事業対象：児の療育に困難さや心配を抱えている親子 ■実施主体：区役所保健福祉サービス課 ■事業形態：直営、当初予定事業 ■開始時期：平成17年度</p>	<p>○「プーさんキッズ」 1歳半児健診等で相談のあった母子を対象に実施 月1回 (年12回) ○「たま遊びの会」 3歳児健診等で相談のあった母子を対象に実施 月1回 (年12回) ○「3歳児健診 心理相談員による個別相談」 月3回 (年36回)</p> <p>従事者の専門性を活かして発達の確認を行い、対象児にあった対応を助言し、育児不安の軽減を行った。グループは5回参加で卒業とし更なる支援が必要な場合は専門機関に繋がった。</p>	<p>○ 集団で遊ぶことで見えてくる、対象児の個性や課題を多職種で確認することで、保護者に対して適切な助言を行うことができた。また、同じような不安を持つ保護者が集まることで、子供の見方が変化したり、本音を話すことができ育児不安の軽減に繋がったという意見をもらえた。</p> <p>○ 各健診で月6～10人程度発達に不安を感じている保護者がいる。個別相談の形態で実施している心理職による「幼児相談」は1人45分の相談で、時間予約制をとり半日3人と人数の制限がある。幼児相談は予約が入りにくい現状があるがその点を補うことができた。</p>	<p>予算額：1,645,000円 決算額：1,639,305円</p>

事業名 [担当課]	事業概要	実施結果(時期・内容・参加数等)	担当課の事業評価(成果)	事業費
3-12 生きがいと楽しさを持つ子育て交流支援事業 【保健福祉サービス課】	○ 親子が安心して健康診断や予防接種が受けられる環境の整備をする。 ○ 孤立した育児環境の中で子育てにストレスを感じている親子が多いため、センター内外で、気軽に集まれる交流の場(サロン)を設け、集団遊びやグループワークを通して子育ての楽しさを経験する。 ■事業対象 ：区内の子育て中の親子 ■実施主体 ：区役所保険福祉サービス課・地域保健福祉課 ■事業形態 ：直営、当初予定事業 ■開始時期 ：平成15年度	○ 3か月児健診・1歳6か月児健診・3歳児健診・産後健診・BCG予防接種(月3回×12か月) ○ ポリオ予防接種(年10回) ○ 育児相談(月1回×12か月) ○ 地域サロン(4地区×月1回×12か月) ○ 育児支援グループ(月1回×12か月) 上記場面に保育士及びボランティアを配置し、育児支援を実施した。	○ 3か月児健診・1歳6か月児健診・3歳児健診・産後健診・BCG予防接種(月3回×12か月)ポリオ予防接種(年10回)の各事業に、保育士及びボランティアを配置したことにより、保護者も子どもに気をとられ過ぎることなく相談することができた。安全に、かつ安心して健診等を利用できるよう母子をサポートすることができたため、事故が発生することなくまた事故予防にもつながった。第2子の健診に第1子を同伴してきた母から「今日はボランティアさんはいますか。」と尋ねられることもあり、期待度は高かった。 ○ 各グループ月1回の事業ではあるが、参加を楽しみにしている親子が多かった。地域の子育てサロンや所内子育て支援事業に保育士及びボランティアが参加することで、子どもとのかかわり方がわからない母をサポートすることができた。子育ての楽しさを実感してもらおうと共に、同じ地域に住む世代を超えたボランティアとの交流や親同士の交流を図ることができた。	予算額：1,434,000円 決算額：1,359,419円
3-13 体育指導委員スキルアップ事業 【地域振興課】	多摩区体育指導委員が各担当区域(①菅②中野島③登戸④宿河原・堰⑤長尾⑥生田東⑦生田北⑧生田南の8地区)で健康づくりの推進役として活躍できるよう指導技術のスキルアップを図る。 ■事業対象 ：体育指導委員 ■実施主体 ：多摩区体育指導委員会 ■事業形態 ：全部委託、当初予定事業 ■開始時期 ：平成19年度	○ 参加者 多摩区体育指導委員 ○ 内容 聖マリアンナ式筋力アップ体操 ○ 開催回数 2回(2月9日、2月23日) ○ 参加延人数 32人	体育指導委員が受託者の専門知識・技術を活用することで、地域に貢献するための健康づくりに対する理解と技術の向上を図ることができた。 また、体育指導委員会が主催する事業には高齢者が参加する市民体力テスト事業や歩け歩け運動もあることから、習得した知識や技術を活用しながら実施することにより、生涯スポーツに親しむ機会を広めることができる。	予算額：295,000円 決算額：157,500円
3-14 多摩区・3大学連携事業 【企画課】	区内に立地する3大学(専修・明治・日本女子大学)の知的資源及び人材を活用し、大学と地域社会が連携して、実践的な活動を展開することで、地域社会の様々な課題の解決を図るとともに、文教都市としてふさわしい地域社会づくりを目指す。地域の課題解決に向けたモデル的事業について、大学及び区役所からの提案や地域からの要望をもとに、多摩区・3大学連携協議会で協議したうえで、事業化を図り、大学へ委託する。 ■事業対象 ：専修大学・明治大学・日本女子大学及び区民 ■実施主体 ：3大学連携協議会 ■事業形態 ：全部委託、当初予定事業 ■開始時期 ：平成18年度	○ 「多摩川周辺地域住民のための体験型河川学習コンテンツの開発実施委託」(専修大学) 区内の小学生5年生で学ぶ、「水のはたらき」について、体験型の学習教材を作成、実演することにより、理解を深めた。 ○ 「弁当の日による地域連携プロジェクト」(明治大学) 商店街、大学生が協力して、小学生がお弁当のメニュー、買い物、調理まで自分で行うことにより食の大切さを学んだ。 ○ 「多摩区におけるデジタル地域地図の児童・生徒への普及活動事業」(日本女子大学) 様々な分野にて利用が可能となるデジタル地図の普及を目的に、小中学校向けのワークショップを行った。 その他、多摩区・3大学連携事業として、「2010多摩区3大学コンサート(観覧者370人)」、「多摩区3大学連携協議会インターンシップ(春季)」、「箱根駅伝応援事業(12月)」などを行った。	3大学連携(多摩区・3大学連携協議会)は、多摩区の大きな特色である。多摩区・3大学連携事業の一環として、今後とも大学の知的資源や人材を地域の活性化に活かしていくことは、行政はもとより、大学及び地域住民にとっても、大きな意味を持っている。 事業内容については、区からの一方的な提示ではなく、多摩区・3大学連携協議会及び各大学との個別打合せによって、決定している。 地域住民と大学(学生)がともに地域課題を考えることにより、地域活動等への関心が高まり、各事業に協働・参加した区民・関係団体からも、事業の継続を求める声が出るなど、当該事業は高く評価されている。	予算額：1,823,000円 決算額：1,767,675円

IV 環境を守り自然と調和したまちづくり事業費

予算額 4,930,000円

決算額 771,163円

事業名 [担当課]	事業概要	実施結果(時期・内容・参加数等)	担当課の事業評価(成果)	事業費
4-1 里地里山の保全活動事業 【地域振興課】	多摩区の豊かな自然環境の維持発展と、区内の青少年に多摩区の大小様々な森と触れ合う機会を提供し、自然の豊かさや大切さを体験してもらうことを目的に、生田緑地を会場として各種の企画を実施する。 ■事業対象：区民 ■実施主体：区役所地域振興課 ■事業形態：全部委託、当初予定事業 ■開始時期：平成2年度	○実施時期 平成23年3月5日 ○実施場所 生田緑地柗形山広場 ○実施内容 ネイチャーゲーム、バルーンアート他 ○参加人数 300人	例年行われていた「森のまつり」については廃止をして、青少年が自然に触れることを目的としていく事業に変更した。今回は実践型の体験学習をすることを目的とし、生田緑地の自然環境を実感できるネイチャーゲームをメインとした事業となったため、当初の計画よりも規模を縮小しての開催となった。結果としては、青少年を中心とした参加者が自然の大切さを知り、また、様々な体験を通して、多摩区の豊かな自然環境を認識することができた。	予算額：1,843,000円 決算額：470,651円
4-2 カーボン・チャレンジ川崎エコ戦略関連事業 【企画課】	CCかわさき関連事業を市民活動団体などとの協働により「緑のカーテン大作戦」及び「イベントでのリユース食器を活用した取り組み」等を実施する。 ○「緑のカーテン大作戦」を市民活動団体の協力により実施し、区民への環境への意識向上を図る。 ○「イベントでのリユース食器を活用した取り組み」生田緑地サマーミュージアムにおいてリユース食器を使用し、使い捨ての食器の「ごみ」の削減とイベントでの実践を通じて3R(リデュース・リユース・リサイクル)を基本とした循環型社会づくりの大切さを広く区民にPRする。 ■事業対象：区民 ■実施主体：区役所企画課・区民 ■事業形態：一部委託、当初予定事業 ■開始時期：平成21年度	○ゴーヤーの種子を配布 ○緑のカーテン大作戦 ○多摩区役所打ち水大作戦 ○イベントでのリユース食器を活用した取り組み ○多摩区役所職員「一人一エコ宣言」運動	全市的にカーボン・チャレンジかわさきエコ戦略(CCかわさき)に取り組んでいる中、多摩区においても、その基本的な考え方である「多様な主体の協働によりCO ₂ 削減の取り組みの推進」に基づき、CCかわさき関連事業を市民活動団体などとの協働により実施することにより、CO ₂ 削減にもつながるため、重要な事業である。	予算額：70,000円 決算額：68,462円
4-3 まちかどアメニティ事業 【企画課】	かつて桃栽培が盛んであった宿河原地区において、桃の植樹を行うことにより、地元愛の醸成や環境教育に役立てる。また植樹後の管理を適正に行うために、宿河原桃を紹介する案内板を設置する。 ■事業対象：区民 ■実施主体：区役所企画課 ■事業形態：全部委託、当初予定事業 ■開始時期：平成22年度	○宿河原桃説明看板作製業務委託 ○緑化センター樹木移植等業務委託	当初、桃の植樹地を市有地(道路用地)に予定していたが、緑化センターを植樹地とした。植樹にあたっては、地元活動団体が自主的に管理を行っていくこととした。	予算額：3,017,000円 決算額：232,050円

VI 個性と魅力が輝くまちづくり事業費

予算額 14,705,000円 (当初予算額 12,567,000円)

決算額 12,455,849円

事業名 [担当課]	事業概要	実施結果 (時期・内容・参加数等)	担当課の事業評価 (成果)	事業費
<p>6-1 観光振興・タウンセールス推進事業</p> <p>【地域振興課】</p>	<p>【目的】 多摩区を豊かな自然や文化財と身近に触れ合える新しい観光エリアとして広報宣伝し、川崎市のイメージアップを図りながら観光客の誘致に努めるため、多摩区観光推進協議会と連携して賑わいと魅力あるまちづくりを推進する。</p> <p>【内容】 観光事業の発展及び観光客の誘致を図るためのキャンペーンを円滑・効率的に推進し、区内の観光・商業・文化等に関する団体及び個人並びに区民の連携・連帯の促進を図る。</p> <p>■事業対象：区民及び近郊都市住民 ■実施主体：多摩区観光推進協議会 ■事業形態：全部委託、当初予定事業 ■開始時期：平成19年度</p>	<p>○観光キャンペーン事業 多摩区民祭でのPR、狛江市民まつりでのPR ○戦略観光ポスター発信事業 JR首都圏主要駅観光誘致ポスターの掲出 ○観光ガイドマップ発行事業 多摩区観光ガイドマップ発行 ○多摩区観光ホームページによる情報発信事業 観光情報ホームページの整備 (観光情報の更新) ○地域観光・商業基盤整備活動支援事業 地域の団体・組織が主催している伝統芸能の披露やイベント等において、その宣伝ポスターやチラシの制作といった、主に広報面での支援。 〔支援した主な行事〕 ・多摩川桜のコンサート(4月) ・長尾の里あじさいまつり(6月) ・民家園通り商店会夏まつり(7月) ・菅の獅子舞(9月) ・武州稲毛七福神めぐり(1月) ○調査研究事業 多摩区まちづくりワークショップの開催 (延べ80名参加)</p>	<p>○ 豊かな自然や文化施設等の観光資源が集積している多摩区においては、既存の観光資源を活かし、区の魅力の情報発信・広報宣伝等の取組を行ない、交流人口の増加、賑わいのあるまちづくりを推進していくことが必要である。また、観光の切り口から地域を盛り上げていくための取組を推進していくことは重要である。</p> <p>○ 事業推進にあたっては、関係区民や多摩区観光推進協議会のメンバーとの協働により、効果的・効率的な手法を検討しながら事業を推進している。</p> <p>○ 各種の地域イベントや施設において、観光推進協議会がPR活動やポスター等の掲出といった支援を行なうことによって、その集客効果が対前年比で伸びている等、一定の効果を上げている。</p>	<p>予算額：4,938,000円 決算額：4,820,836円</p>
<p>6-2 「音楽のまち・かわさき」多摩区事業</p> <p>【地域振興課】</p>	<p>市の施策である「音楽のまち・かわさき」を多摩区でも推進するため、区民に音楽芸術を身近に触れる機会を提供し、併せて広く区民に多摩区の魅力をアピールすることを目的として音楽事業を実施し、さらなる地域の文化環境の向上と意識の醸成を目指す。</p> <p>■事業対象：区民 ■実施主体：「音楽のまち・かわさき」多摩区事業実行委員会・NPO法人多摩川エコミュージアム ■事業形態：全部委託、当初予定事業 ■開始時期：平成16年度</p>	<p>○たまアトリウムコンサート ・日程 奇数月の第3水曜日 ・会場 多摩区総合庁舎1階アトリウム (計5回開催、来場者：延べ850人) ○多摩川夕涼みコンサート ・日程 8月7日(土) ・会場 ニヶ領せせらぎ館下河川敷 (来場者：800人) ○子育て応援コンサート ・日程 9月19日(日) ・会場 多摩市民館ホール (来場者：750人)</p>	<p>○ 区内には音楽を愛好する市民によるアマチュア合唱団、吹奏楽団等が多く存在しており、音楽活動が活発に行われている。このような区民の音楽活動を支援し、音楽活動による地域の活性化を図るために区民へ音楽芸術に触れる機会を提供する事業を推進することが必要である。また、区内に存在する多くの人材を活かし、身近な場所で音楽関係者によるイベントを開催することにより多摩区に「音楽のまち」として魅力あるイメージを定着させ、地域の活性化を図ることが重要である。各イベントにおける参加者数、参加者の反応、アンケートの内容等から、年々当事業の存在は区民へ浸透してきており、区民の興味をひく内容となってきたことが伺える。</p> <p>さらに、当事業は地域に住む区民と協働して行うため、区民のニーズをつかむことが容易であり、新たな地域人材の発掘についても効果的である。</p> <p>○ 駅前広場等コンサート及び子育て応援コンサートについては、一定の事業効果が達成されたと考え、また実施場所等の問題もあることから、平成22年度をもって終了し、平成23年度以降は別の音楽事業(たま音楽祭)を立ち上げる。</p>	<p>予算額：3,313,000円 決算額：2,308,341円</p>

事業名 [担当課]	事業概要	実施結果(時期・内容・参加数等)	担当課の事業評価(成果)	事業費
6-3 多摩まちかど祭 【地域振興課】	区民相互のふれあいと地域の活性化を目指して、区民一人ひとりが舞台運営の担い手となるステージショーを区民祭の会場で開催し、地域コミュニティの形成に役立てる。 ■事業対象：区民 ■実施主体：多摩まちかど祭実行委員会 ■事業形態：全部委託、当初予定事業 ■開始時期：平成3年度	多摩まちかど祭(多摩区民祭と同時開催) ・時期 平成22年9月25日(土) ・内容 区民祭の会場内に設置し、伝統芸能や一般参加によるダンス、コーラスの披露の場となった。 ・参加数 14演目(楽器演奏、舞踏、歌、寄席等) ・参加人数 152人(大人62人、小人90人)	地域に根ざしたより身近な場所において、舞台公演をすることで、区民に文化芸術の発信、交流、鑑賞の場を提供し、地域コミュニティの形成に役立っている。	予算額：800,000円 決算額：786,113円
6-4 多摩区イメージアップ事業 【地域振興課】	【目的】 多摩区のイメージアップを図り、区民の郷土に対する愛着を育むための住民参加によるまちづくりや、都市間の交流による住民相互の友好を深め、ふれあいのある地域社会の創造を推進する。 【内容】 区民との協働により、上記の目的に沿った各種事業を行なう。 ■事業対象：区民 ■実施主体：多摩区イメージアップ委員会 ■事業形態：全部委託、当初予定事業 ■開始時期：平成9年度	○区の魅力紹介事業 登戸駅ペDESTリアンデッキパナー事業 ○区民参加型コンテスト 『多摩川梨を楽しもう!』 ・日程 8月28日(土) ・会場 多摩区総合庁舎1階アトリウム ○区の花・木普及促進事業 記念植樹(1、2月)、区の花普及(通年) ○交流都市関連事業 南房総のさかな料理教室(9月)、物産交流事業(9、10、11月)	○今年度初めての取組となる「多摩川梨を楽しもう!」については、多くの区民の参加があり好評であったため、次年度以降も区の魅力発信事業として継続実施していく。 ○関係者や区民からの意見として、『観光振興・タウンセールス推進事業』と類似する内容が多いことが挙げられていたため、当該事業内容及びその実施主体である多摩区イメージアップ委員会のあり方について見直し・検討を行なった。その結果、区のイメージアップのために今後も必要とされる事業を観光振興・タウンセールス推進事業の一環として継続して実施すると共に、当該委員会については、委員や関係者の意見も考慮し、解散することとなった。	予算額：1,147,000円 決算額：1,088,448円
6-5 生田緑地エントランススポット管理運営事業 【企画課】	多摩区では、生田緑地等を主体とした観光推進に取り組んでいるところであり、その生田緑地の玄関口として、生田緑地へ向かう人々が憩うことのできる空間を提供するとともに、ポスター等の展示で多摩区の魅力を発信する役割も担っている「生田緑地エントランススポット」について、区内の大学と協働し、フィールドワークの機会を提供する形で管理を委託して維持補修を実施する。 ■事業対象：主に区民 ■実施主体：区役所企画課 ■事業形態：全部委託、当初予定事業 ■開始時期：平成18年度	生田緑地エントランススポットに設置したベンチの整備等、適切な管理を実施した。	生田緑地エントランススポットは、生田緑地の活性化やまちづくりの視点から、生田緑地への玄関口として製作・設置されたものであり、当該施設の適切な管理によって、生田緑地への案内や観光客への休憩所としての場を人々に提供することや、当該施設へのポスター等の掲示により多摩区の魅力を発信することができたため、観光推進に大きく貢献できた。 また、設置から5年が経過するエントランススポット内のベンチ・植栽などを管理・補修することを目的に実施し、美観の確保及び当該施設の劣化防止につながった。	予算額：168,000円 決算額：168,000円
6-6 ミニ水族館の維持管理 【地域振興課】	多摩区役所を安らぎと潤いのある環境にし、郷土の多摩川をより身近に感じてもらうため、多摩川に生息する魚類を総合庁舎1階アトリウムに設置した水槽で飼育し、ミニ水族館として来庁する区民向けに展示する。また年2回の企画展示を行う(8月：金魚、3月：二ヶ領用水の魚)。 ■事業対象：区民 ■実施主体：区役所地域振興課 ■事業形態：全部委託、当初予定事業 ■開始時期：平成2年度	多摩区総合庁舎1階アトリウムにおいて多摩川に生息する生き物を飼育する水槽を2基設置し、年間を通じて来庁した区民が身近に鑑賞できる場を提供した。	当事業は多摩川に生息する生物を紹介し、多摩区のキャッチフレーズである「水と緑と学びのまち多摩区」の象徴である多摩川について、区民に理解と愛着を深めてもらうとともに、区民に行政を身近に感じてもらうよう、多摩区総合庁舎を温もりと潤いのある環境としていく必要があることから実施するものである。 多摩川に生息する生き物を庁舎内に展示することは良好な自然を次世代に継承していく意識を育み、郷土に対する愛着や連帯意識を醸成するためにも重要である。親子連れが水槽を覗いている姿がよく見られ、区民が多摩区の自然への理解を深め、行政施設を身近に感じられるきっかけとなっている。	予算額：945,000円 決算額：756,000円

事業名【担当課】	事業概要	実施結果(時期・内容・参加数等)	担当課の事業評価(成果)	事業費
6-7 水辺の愛護活動事業 【地域振興課】	<p>緑豊かな憩いのある水辺づくりの観点から市内河川延長65kmのうち6割を超える40kmの河川があるという地域特性を守り育むため、また、水辺の環境愛護を推進するために、町内会や商店街、子ども会、市民団体、学校等の参加を得て河川沿いの清掃活動を協働で実施する。</p> <p>■事業対象：区民 ■実施主体：区役所地域振興課 ■事業形態：直営、当初予定事業 ■開始時期：平成20年度</p>	<p>二ヶ領用水宿河原線 水辺の愛護活動</p> <p>○実施時期 平成22年9月26日</p> <p>○実施場所 二ヶ領用水宿河原線(東名高速道路高架下～新船島橋)</p> <p>○実施内容 用水沿いのゴミの回収等の環境愛護活動</p> <p>○参加者人数 350人</p>	<p>多摩区内の貴重な資源である二ヶ領用水・宿河原線の河川・水路を、町内会・自治会、商店街、子ども会、市民団体などと協働し、環境愛護活動を実施していくことで、地域における緑豊かな水辺づくりに繋ぐことができた。</p>	<p>予算額：229,000円 決算額：78,907円</p>
6-8 郷土芸能推進事業 【地域振興課】	<p>多摩川流域郷土芸能フェスティバルは、かけがえのない貴重な資源である多摩川を多くの人々に親しんでいただき、関心をもってもらうために多摩川流域に根付き、伝承されている郷土芸能を一同に集めたフェスティバルを開催し、流域の観光・商業の振興を図っている。</p> <p>■事業対象：多摩川流域住民 ■実施主体：区役所地域振興課 ■事業形態：直営、当初予定事業 ■開始時期：平成21年度</p>	<p>○実施時期 平成22年12月5日</p> <p>○実施場所 狛江エコルマホール</p> <p>○実施内容 多摩川流域郷土芸能フェスティバル</p> <p>○参加者人数 500人</p>	<p>フェスティバルを開催し、多摩川流域に根付いている郷土芸能を通じて、多くの方々に多摩川への親しみや関心をもってもらうことができた。多摩区は、多摩川音頭・梨もぎ音頭を披露し、流域の観光・商業の振興を図ることができた。</p>	<p>予算額：100,000円 決算額：100,000円</p>
6-9 二ヶ領用水竣工400年記念事業 【企画課】	<p>川崎を育んだ「いのちの水」、二ヶ領用水が竣工して、平成23年3月1日をもって400周年を迎えた。この400周年を記念して、二ヶ領用水の役割を歴史的に再確認するとともに、多摩区民が「ふるさと川崎」の歴史を見直す中で、さらによいまちづくりに取り組む一助となることを目的として事業を実施する。</p> <p>■事業対象：区民 ■実施主体：区役所企画課 ■事業形態：全部委託、当初予定事業・緊急対応事業 ■開始時期：平成22年度</p>	<p>○「二ヶ領用水竣工400年記念～源流のまち多摩区展～」事業実施</p> <p>○「二ヶ領用水竣工400年記念～源流のまち多摩区展～」記録映画作成</p> <p>○二ヶ領用水400年記念看板デザイン制作業務</p> <p>○二ヶ領用水400年記念看板設置制作業務</p>	<p>二ヶ領用水竣工400年を記念した展示会を行うため、町内会や地域活動団体に呼びかけて「多摩二ヶ領400年プロジェクト」を組織した。平成22年10月15日～17日にかけて「源流のまち多摩区展」を開催し、展示会やホール公演及びシンポジウムなどに協働で取り組むことで、区民の二ヶ領用水への思いを再認識するとともに、今後の二ヶ領用水について、区民と行政がともに考える機会となった。また、この取り組みの中で、参加した市民活動団体や学校などの間で連携が生まれており、二ヶ領用水竣工400年を契機として市民活動が盛り上がっていく機会となることができた。</p>	<p>調整後予算額：2,538,000円 当初予算額：400,000円 (緊急対応経費から流用：2,138,000円) 決算額：1,823,874円</p>
6-10 仮称藤子・F・不二雄ミュージアム広報事業 【企画課】	<p>区民の皆様に広く仮称藤子・F・不二雄ミュージアムの開館(平成23年9月)をPRするとともに、多摩区の新たな観光施設として地域の盛り上がりを一層高めることを目的に、カウンタダウンのモニュメントも設置されている登戸駅ペDESTリアンデッキにバナーフラッグを掲出する。</p> <p>■事業対象：区民 ■実施主体：区役所企画課 ■事業形態：直営、当初予定事業 ■開始時期：平成22年度</p>	<p>藤子・F・不二雄氏の作品のキャラクターを活用し、多くの市民の藤子・F・不二雄ミュージアムへの関心を高めるようなデザインとしたバナーフラッグを作製し、登戸駅ペDESTリアンデッキに掲出をした。</p>	<p>藤子・F・不二雄氏の作品の代表的なキャラクターである「ドラえもん」と重機が描かれ、開館にむけて工事中であることをアピールするインパクトのあるデザインとした。</p> <p>多くの新聞・マスコミに取り上げられたこともあり、登戸駅を利用する人々だけでなく、多くの区民にミュージアムの開館をPRするとともに、多摩区の新たな観光施設として地域の盛り上がりが高めることができた。</p>	<p>予算額：227,000円 決算額：225,330円</p>

事業名 [担当課]	事業概要	実施結果(時期・内容・参加数等)	担当課の事業評価(成果)	事業費
<p>6-11 多摩ふれあいまつりコンサート事業</p> <p>【地域保健福祉課】</p>	<p>「多摩ふれあいまつり」は、主催が多摩ふれあいまつり実行委員会、たまわかくさ(多摩区当事者・ボランティア連絡会)、多摩市民館、共催が多摩区、多数の後援を得て開催し、障害のある方やボランティアの団体・グループが、地域で活動している模様を紹介し、共に暮らすことを願い「バリアフリーわたしとあなたとこの街と」をテーマに開催している。</p> <p>10周年記念事業として東京交響楽団の出演は、障害者・児が楽団の素晴らしい演奏を聴き、一緒に表現すること及び多摩ふれあいまつりに多数の区民の参加を得ることを目的とする。</p> <ul style="list-style-type: none"> ■事業対象：区民及び区内在勤・在住者 ■実施主体：多摩ふれあいまつり実行委員会・たまわかくさ・多摩市民館 ■事業形態：全部委託、当初予定事業 ■開始時期：平成22年度 	<p>6月27日(日)11時～15時半まで多摩市民館大ホールにて、東京交響楽団によるコンサートを開催。</p>	<p>ポスターでの周知等により、「多摩ふれあいまつり」の集客効果を高め、約4千人もの来客があった。また、「多摩ふれあいまつり」の10周年を記念して実施していることを、広く区民に伝える効果があったとともに、障害者・児をはじめとして多くの区民に演奏を聴いてもらい、障害のある人への理解と福祉活動に対する理解が深まった。</p>	<p>予算額：300,000円 決算額：300,000円</p>

Ⅶ 参加と協働による市民自治のまちづくり事業費

予算額 17,104,000円

決算額 10,091,428円

事業名 [担当課]	事業概要	実施結果 (時期・内容・参加数等)	担当課の事業評価 (成果)	事業費
7-1 地域コミュニティの活性化促進事業 【地域振興課】	町内会・自治会の抱える高齢化、後継者不足等の課題の解決に役立てるため、町内会・自治会アンケートを実施し地域コミュニティ活性化のための検討を行うための基礎資料とする。 ■事業対象：区民 ■実施主体：区役所地域振興課 ■事業形態：全部委託、当初予定事業 ■開始時期：平成20年度	○実施時期 平成23年2月～3月 ○内容 町内会・自治会に関するアンケート（区町連に加入する90町会） 1 町内会・自治会の会長について 2 町内会・自治会の運営について 3 町内会・自治会の活動について 4 区役所との関係について 5 市民活動団体、町内会・自治会との連携について 6 その他	町内会・自治会へのアンケートを実施し、地域の抱える課題について導き出すことができた。また、次年度以降、課題について町内会・自治会と協働で検討をし、具体的な地域コミュニティ活性化のための取り組みを行うための基礎資料となった。	予算額：1,607,000円 決算額：693,000円
7-2 磨けば光る多摩事業 【企画課】	区における地域課題の解決や、安全で安心・潤いのある暮らしの実現に向けて、区民が自主的、主体的に実施する公益性の高い活動提案を募集し、選定されたものを区の事業として位置づけた上で、提案者に委託する。 ■事業対象：区民 ■実施主体：区役所企画課 ■事業形態：一部委託、当初予定事業 ■開始時期：平成18年度	○めだかの地域大学 地域住民に対して、保健・医療・福祉などの情報の提供や、住民が日ごろから練習していることの発表など、合計11回の講演や演奏会を行った。 ○家庭からのてんぷら油の回収事業 毎月第3水曜日に、区役所・生田出張所・道路公園センター及び当該事業に賛同いただいた区民の協力を得て、個人宅も含めた全27か所で使用済みてんぷら油を回収した。（合計9回）また、CO2削減や資源循環型のライフスタイルについての講話、回収した油から作られた石けんを使っのナチュラルクリーニング講座なども開催した。 ○多摩区公園探検 調査対象の公園80か所を選定し、チラシや区役所でのパネル展示を通じて募集した公園探検隊参加者へ依頼する形で公園調査を実施した。調査結果や写真などを集約し、公園ごとの情報を整理し、ホームページへ掲載した。	地域における課題が多様化し複雑化していることから、市民活動団体のノウハウを生かすことにより、各事業について多くの参加者を集め、好評を得ることができた。また、提案事業の審査については、公開プレゼンテーションを実施し、事業終了後に報告会を実施して評価・検証することにより、事業の透明性の確保及び今後の事業を実施するうえでの改善点などを明確化することができた。さらに、市民活動団体と協働で実施することにより、市民活動の活性化を図り、区民と行政との協働のしくみづくりの推進につながった。	予算額：2,229,000円 決算額：1,811,708円
7-3 まちづくり推進事業 【地域振興課】	区民の自主的活動組織である「多摩区まちづくり協議会」は、市民活動団体では担えない中間支援的かつ公共的な役割を実現するとともに、区民と連携を図りながら区内のまちづくりに関する課題の提起及びその解決のための実践を川崎市と協働して行う。活動内容は、次に掲げるとおりとする。 ○まちづくりに関する活動の情報を交換する場づくり ○まちづくりに関する活動を支える情報の収集及びこれらから得られた情報の区民等への提供 ○まちづくりに関する意見、川崎市から提示されたまちづくりに関する課題等の協議及び検討 ○まちづくりに関する課題を解決するための企画及び区民等との協働によるその実践 ■事業対象：区民 ■実施主体：多摩区まちづくり協議会 ■事業形態：全部委託、当初予定事業 ■開始時期：平成12年度	平成22年度に組織改正を行い、運営体制のスリム化と運営方法の見直しを図った。具体的な課題解決の実践的活動としてのプロジェクト活動について検証と整理を行い、「地産地消の推進」「世代間の交流ができる居場所づくり」「市民活動団体の連携」の3つのプロジェクトを中心に情報収集や交流会の開催等具体的な活動を行った。 平成22年7月には協議会委員の会議におけるファシリテーション力の向上を目的に研修会を開催した。11月には先進的な取り組みを実践する他都市の事例について調査研究するため、横浜市への視察研修を実施するとともに、まちづくり活動を行う他団体の視察を受け入れ、意見交換と交流を行なった。平成23年2月には、区内の活発な市民活動を一般市民に広く周知することを目的に、まちづくり活動発表会を開催し、3つの団体紹介と各プロジェクトの活動報告を行った。 また、年4回広報紙を発行し、行政施設だけでなく民間施設にも配架し、協議会の活動を中心に、市民団体の情報も発信してきたところである。	行政と市民との協働型社会の実現に向けて、区民や各市民活動団体の連携を図る中間支援的な役割を担い、幅広い区民の意見を取り入れた活動を行う等、行政との協働による市民活動組織として経験を積んできた協議会によるまちづくり推進事業は必要と考えられる。 今後も区民の主体的な参加による問題提起やその解決のための実践活動を行う場として、また新しい地域人材の発掘・育成の場としても重要である。 毎年継続して実施してきた意見交換会や活動発表会をきっかけとした市民団体同士のつながりもできつつあり、継続して活動してきた3つのプロジェクトについても、中間支援的な役割を果たしつつ、ある一定の成果を残すことができ、公共的な役割を担う組織としての活動の基盤を形成しつつある。 ○たま農マップの発行 ○多摩の居場所ふらっとの開催 ○多摩区コミュニティ施設マップの発行（区民会議との連携）	予算額：4,935,000円 決算額：4,573,362円

事業名 [担当課]	事業概要	実施結果(時期・内容・参加数等)	担当課の事業評価(成果)	事業費
7-4 区民活動支援コーナー運営事業 【地域振興課】	地域課題解決に向けた市民活動団体による活動が活発に行われる中、区民が自発的、継続的に参加し、第三者や社会の課題解決に貢献する営利を目的としない活動の、自主的かつ自立的な発展を支援するために、印刷や資料づくり等に必要な備品等を備えた「多摩区民活動支援コーナー」を多摩区総合庁舎に設置し、登録した団体及び個人に対し、利用開放する。 ■事業対象：区内で活動する市民活動団体 ■実施主体：区役所地域振興課 ■事業形態：直営、当初予定事業 ■開始時期：平成13年度	多摩区役所7階の会議コーナー、印刷・作業コーナー及び多摩区役所6階の菓子センター小会議室及び多摩区役所1階の情報コーナーを「多摩区民活動支援コーナー」として、利用登録を行った団体に対し、無料(印刷に係るインク・マスター・用紙等の消耗品を除く)で利用開放した。 また、活動支援コーナーをより充実した市民活動の拠点とするため、利用登録団体からの推薦委員によって構成される「多摩区民活動支援コーナー利用者会議」において、活動支援コーナーの機能及び運営方法等について協議・検討を行った。	地域の課題解決の主体として市民活動の役割が増す中、区内の市民活動をより充実させるために、市民の活動しやすい環境づくりや市民の自主的な活動に対する支援が必要であり、市民活動をより充実させることは市民自治の観点から区民、行政ともに大きな意味をもたらすものであることから、行政によるこれら市民活動の側面的支援は重要であると考えられる。また、市民活動を活性化させることを目的として、施設及び機器の整備や充実並びに地域拠点の整備等の活動支援を行政が担うことは、市民自治を推進する観点においては効果的な方法である。	予算額：1,605,000円 決算額：1,125,494円
7-6 窓口サービス改善推進事業 【区民課】 【保険年金課】	多摩区総合庁舎を訪れる方々が、目的の窓口等にスムーズに行けるよう、分かり易く見やすい、庁舎案内サイン等の整備や、住民異動届出等に区民課を訪れる市民に、手続き方法、必要書類等が分かりやすい案内カードの作成・配布等を通して、市民に便利で快適なサービスを提供する。 ■事業対象：多摩区総合庁舎来庁市民 ■実施主体：区役所区民課・保険年金課 ■事業形態：全部委託、当初予定事業 ■開始時期：平成22年度	○1階アトリウムに床面表示、各階ピクトグラムサインの設置、エレベーター周辺等案内板設置、液晶モニターの設置 ○「多摩区総合庁舎のご案内」の作成配布 3,000部作成 ○区民課(申請・請求・届出)各種「案内カード」作成配布 ・住民異動届 10,000枚 ・印鑑登録関係 8,000枚 ・保険関係 8,000枚 ・住記カード 8,000枚 ・証明書関係 8,000枚 作成	市民に便利で快適なサービスを効果的かつ効率的に提供する区役所に向けて、区役所に初めて訪れる市民を意識した行政情報の発信など案内表示(液晶モニターの導入・アトリウムの床面表示・各階ピクトグラムサイン・エレベーター内各階案内板等)、総合案内などでの親切・丁寧な対応に向けた「総合庁舎のご案内」の作成など、市民に分かりやすい窓口サービスの提供ができた。	予算額：3,381,000円 決算額：1,707,789円
7-7 第2期区民会議関係事業 【企画課】	第2期多摩区区民会議(平成20年度～平成21年度)で審議し区長に提言される審議結果について、区民との協働により課題解決に取り組む事業について実施する。区民会議の審議結果に対して平成22年度から迅速に対応するために、予算を確保した。 ■事業対象：区民・区民会議 ■実施主体：区役所企画課 ■事業形態：直営、当初予定事業 ■開始時期：平成22年度	○多摩区コミュニティ施設MAPの作成 第2期多摩区区民会議にて、地域コミュニティを活性化するため、小学校、こども文化センター、いこいの家を活用して世代間交流の促進が提言された。 多摩区のまちづくり組織である、多摩区まちづくり協議会では、世代間交流ができるコミュニティセンターとなりうる施設の調査を、こども文化センターやいこいの家だけでなく、民間の施設も含めて行った。また第3期区民会議でも、地域の拠点を活かした地域のコミュニティ活性化の審議が行われており、まちづくり協議会での調査と、区民会議での審議結果を組み合わせたコミュニティ交流マップの作成を行った。(3,000部作成)	多摩区コミュニティ施設MAPは、小学校、こども文化センター、いこいの家などの公共施設や、施設開放を行っている民間施設など、様々な地域の拠点となっている施設を掲載し、今後のコミュニティ活性化の検討を行っていく上で、重要なツールとなっている。今後は、第3期区民会議の審議によっては、市民活動団体の活性化や、民間施設の掲載を増やしていくことなどにマップを改定していくことも検討していく。	予算額：3,000,000円 決算額：180,075円

Ⅷ その他経費	緊急対応経費	予算額	995,000円 (当初予算額 3,133,000円)	決算額	0円
	共通事務経費	予算額	583,000円	決算額	562,261円

事業名 [担当課]	事業概要	実施結果 (時期・内容・参加数等)	担当課の事業評価 (成果)	事業費
緊急対応経費	緊急課題や区民要望に対応すべき事業のための予備費	「6-9 二ヶ領用水竣工400年記念事業」へ流用： 2,138,000円	—	調整後予算額： 995,000円 当初予算額： 3,133,000円 決算額： 0円
共通事務経費	協働推進事業費の共通事務経費	協働推進事業で共通に必要な物品（印刷機インク等）を 購入した。	—	予算額：583,000円 決算額：562,261円

I 安全で快適に暮らすまちづくり事業費	予算額	3,126,000円	決算額	3,048,481円
II 幸せな暮らしを共に支えるまちづくり事業費	予算額	829,000円	決算額	660,983円
III 人を育て心を育むまちづくり事業費	予算額	13,133,000円	決算額	12,162,144円
IV 環境を守り自然と調和したまちづくり事業費	予算額	4,930,000円	決算額	771,163円
VI 個性と魅力が輝くまちづくり事業費	予算額	14,705,000円	決算額	12,455,849円
	(当初予算額)	12,567,000円)		
VII 参加と協働による市民自治のまちづくり事業費	予算額	17,104,000円	決算額	10,091,428円
Ⅷ その他経費 緊急対応経費	予算額	995,000円	決算額	0円
	(当初予算額)	3,133,000円)		
共通事務経費	予算額	583,000円	決算額	562,261円
合計	予算額	55,405,000円	決算額	39,752,309円